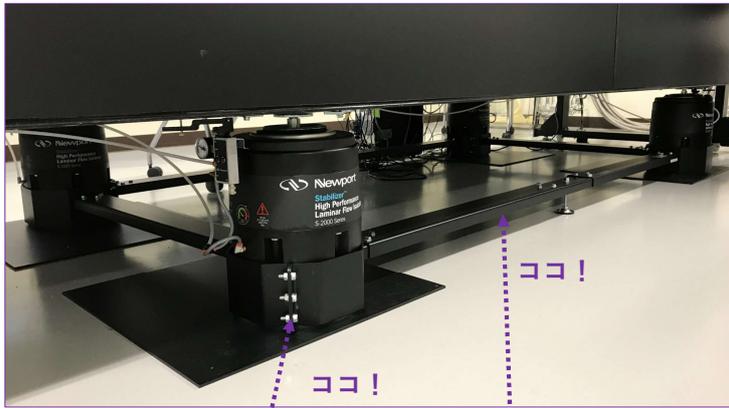


研究開発者の皆様の 安全・安心をサポートします。

- ✓ 実験装置・機器の耐震対策は大丈夫ですか？
- ✓ 密閉空間での事故対策は万全ですか？



除振台用の特注耐バー



(写真提供: 徳島大学様)



研究している最中に除振台の脚が、地震で転倒したらどうなるんだろう？不安ではありませんか。

特徴

- ◆お手持ちの除振脚にフランジが無い場合、メーカー純正品ではフランジ付きの脚に交換する必要がありますが、本製品ではそのまま取り付け可能な為、同等性能の製品をトータルコストを半額以下に収めることが可能です。
- ◆除振台上の実験設備は一切動かす必要がありません。そのままの状態、短時間で取り付けられます。
- ◆組立て式のため、移設等の場合にも簡単に取り外す事ができます。



遠隔監視モニターシステム



(写真提供: 徳島大学様)

密閉空間での酸欠等の事故対応に不安はありませんか？
遠隔から実験室内を監視する必要はありませんか？

特徴

- ◆研究施設内の事故やトラブルを一早く発見します。
- ◆LANケーブルから電気も供給できるため、配線の取り回しがシンプルで比較的安価にて取り付けが可能です。
- ◆Wi-Fiタイプを選択していただくことも可能です。
(カメラ1台につき電源が1か所必要)

注) カメラのWi-Fi通信距離は最大で50mですが、設置環境により異なります。



- ①遠隔監視モニター 大型液晶テレビで、監視カメラの映像を容易に確認する事ができます。
- ②監視カメラ 赤外線機能も備えているため、暗闇での撮影も可能です。
- ③レコーダ HDD内蔵により、撮影画像を数日間保存する事ができます。設定項目の変更も可能です。
- ④酸素濃度計 施設内の酸素量が低下した時に、アラームにより研究者へ危険を知らせます。取り付ける場所を選びません。但し、本体固定金具は両面テープまたはビス2本で固定。電源は100V又は電池で作動します。

※上記以外に酸素マスク(倒れた人を救出に向かう時に、二次災害を防ぐ為に使用します)の設置も推奨します。装着するだけで、呼吸を自動調整できるものがお勧めです。

研究開発者の皆様を



アイデア商品でサポートします。

- ✓ 研究施設内のエアコン風や温度制度でお困りではありませんか？
- ✓ ビニール袋や段ボールで対策されてませんか？

エアコン室内温度制御抑制カバー（天吊り型エアコン用）



特徴

- ◆ エアコンの風除けに加え、室内の温度制御幅を抑制することができます。
- ◆ 軽量で比較的安価に取り付ける事ができ、温度管理がシビアな研究には最適です。
- ◆ オプションで結露等の水漏れを防止体策として、吸水シート及びカバーに縁を設けることが可能です。（安全対策）

その他アイデア商品例



特注計測機器棚

- * 様々なサイズの物が製作可能です。
- * 4 mを超える全長でも中央に柱が存在しないため、研究の邪魔になりません。
- * 上部の棚に総重量200kgの分析機器・装置を設置することが可能です。



特注アルミニウム製暗視ボックス

- * 様々なサイズの物が製作可能です。
- * 光を遮断する研究はもとより、音や温度変化にシビアな研究にも最適です。
- * 組み立て式のため、軽量で搬入作業が容易です。

研究室・実験室の安全対策事項



セブンスクスにご相談ください！

1. スチール棚・書庫等の固定

- 一定の高さ以上の物は、壁、床、天井等へアンカーボルト・金属金具・突っ張り固定器具等で固定する。（参考：徳島大学は1600mm以上）
- 上下が分かれている製品は、ボルト又は金属金具等で連結させる。
- 棚の置いた物が落下しない様、ロープ・紐・鎖・ベルト・プレート等で落下防止措置をする。
- 新規購入の際は、物の落下防止措置を施工された製品を推奨する。

2. 薬品庫の固定

- 高さに関係なく、壁、床へアンカーボルト・金属金具等で固定する。
- 上下が分かれている製品は、ボルト又は金属金具等で連結させる。

3. ガスボンベに固定

- ボンベ架台を使用する場合は、ボンベ架台を床又は壁に固定する。
- ボンベ固定金具を使用する場合は、壁又は実験台へ固定する。
- ボンベを直接壁又は柱へ固定する場合は、鎖又はロープでしっかり固定する。

4. 分析装置の固定

- 実験台、作業台、机等へ、金属金具又はベルト等で固定する。
- 積み重ねている装置は、それぞれ装置を連結するか崩れない対策をする。
- 新規購入の際は、装置を連結する対策・耐震固定する対策が施工されている又はオプション設定がある製品を推奨する。



5. 戸棚・実験台の扉対策

- 扉の中の物が飛び出さない様、金具又は器具を取り付け対応する。
- 新規購入の際は、耐震機構を施工されている製品を推奨する。

6. 水漏れ対策

- 水道及び一定量の水漏れが発生した時の為に、水漏れセンサーを設置して、水漏れ箇所の大元を水漏れセンサーの信号で、電磁弁を作動させて、水漏れを停止させる施工をする。

7. 電気の火災・漏電対策

- 電源は接地付きにする。
- タコ足配線はしない。（現場事情により仕方が無い場合は、テーブルタップ等の最大電気容量を守る事）
- 他の研究・実験に迷惑をかけないように、装置ごとに漏電遮断器を設置する。
- 埃によるショート（火災・電源ダウン）を防ぐため、埃対策をされた製品を選択する。

8. 密閉空間での対策

- 監視モニターを設置し、安全な場所から内部の様子を確認する。
- 酸素濃度計を設置し、酸素濃度を確認する。
- 密閉空間以外の場所と、連絡を取れる設備を施工する。（インターフォン・内外線電話等）
- 酸欠等で倒れた人を救出に向かう際に二次災害を防ぐため、酸素マスクを準備する。